



北海道札幌北高等学校

1 本校の概要

本校は、明治35年に創設された北海道庁立札幌高等女学校を前身とし、昭和25年からは現在の北海道札幌北高等学校と改称、115年を越える歴史と伝統のある学校です。この間、45,000名を越える卒業生が世に出て、科学、芸術、経済、政治など様々な分野で活躍しています。

現在、全日制課程8クラス・定時制課程2クラス（1学年）で、約1,100人の生徒が通学しています。全日制課程では、1コマ65分で授業を実施し、それぞれの進路を意識した主体的な学びに向うとともに、部・外局活動に熱中している生徒がたくさんいます。また、行事(ほのぼの行事・学校祭行灯など)にかけるエネルギーもすさまじく、行事と学習のどちらにも集中し、その時々切り替えを上手く行っています。定時制課程では、働きながら学びたい生徒や不登校を経験した生徒、学び直しの生徒などが高校卒業をめざし、勉強や部活動に励み充実した高校生活を送っています。

2 PTA活動紹介

(1) 全日制課程

「父母と先生の会」の活動は、会長の下、各クラスから選出された学級委員が行事の企画・運営に当たっています。特に中心的な役割を担っているのが、各学年の3名の「学年委員長」で、全体の「副会長」も兼務し、それぞれの学年



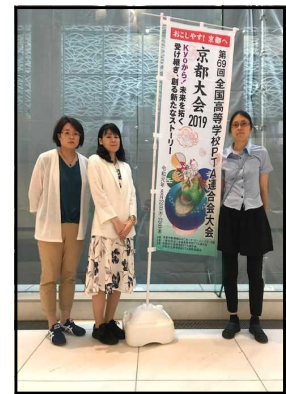
見学会（講義）



全道(胆振・日高)大会

及び全体の活動・運営に携わっています。主な活動内容としては、常任委員会による全体総会及び総会に向けた役員会・運営委員会（4月）や各学年別の総会（5月・9月）の開催、広報委員会による「北高だより」（年3回）・「各学年だより」（年1回）の発行、研修委員会による「見学会」・「研修会」の企画・実施等です。また、石狩支部行事（視察研修・教養講座等）・全道大会・全国大会等にも学級委員を中心に積極的に参加しています。

今年度は、会長が交代し新体制となりました。6月に実施した「見学会」では、最初の訪問先である北海道大学で、池辺新会長の講義を聴講した後、小樽での研修を実施しました。会長を含めて参加した約80名の会員全員が充実した研修により、見聞と交流を深めることができた一日となりました。



全国(京都)大会



学校祭

(2) 定時制課程

定時制のPTAは年4回の役員会を行っています。

PTA活動で最も大きな活動は、全日制とは別日程で実施している学校祭（北定祭）への協力です。毎年、一般公開日に模擬店を出店しており、今年は豚丼を100円で提供しました。一般のお客様や全日制の教職員・生徒の皆さんから大変好評をいただきました。また、PTA役員に加え、保護者の皆さんにもお手伝いとして参加いただき、楽しみながら学校祭を盛り上げています。